

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3C8

1 609 92A 3C8 (2017.03)

コードレス吸じんランダムアクションサンダー AdvancedOrbit 18



取扱説明書

このたびは、弊社コードレス吸じんランダムアクションサンダーをお買い求め
いただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
吸じんランダムアクションサンダー についての注意事項	9
充電器についての注意事項	14
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	15
●本製品について	
用途	16
各部の名称	16
仕様	17
標準付属品	18
別売アクセサリ	19
●使い方	
バッテリー（別売）を準備する	21
作業前の準備をする	24
作業する	31
ポリッシング作業	35
粉じんを取り除く	36
●困ったときは	
故障かな？と思ったら	38
修理を依頼するときは	40
●お手入れと保管	
クリーニング	41
保管	41

ご安全
上
意の

のリ
サイ
クル
に

つ本
製
品
に
て

使
い
方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレス吸じんランダムアクションサンダーには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 危険

ご安全
注意の
意の

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

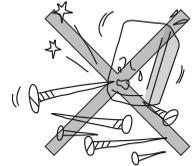


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警告

1. 正しく充電してください。

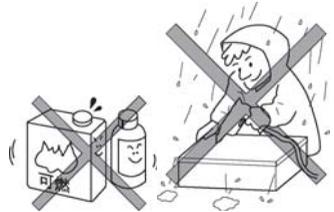
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

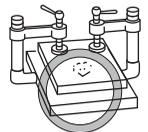
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

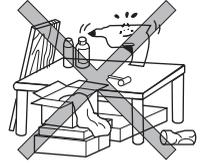
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

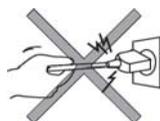


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

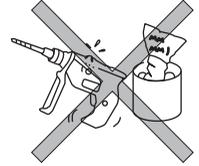
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、吸じんランダムアクションサンダーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
 - ◆ 発煙・発火、また思わぬ事故の原因になります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
3. 本機の操作に慣れていない人やこれらの使用説明を読んでいない人、子供に使用させないでください。
 - ◆ 事故やけがの原因になります。
4. 粉じんが発生する研磨作業をするときは、マイクロフィルターユニットを接続して使用してください。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。
5. 防護用具を着用してください。防護めがねは必ず掛けてください。
 - ◆ 状況に応じて、防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、防音保護具（耳栓など）などの防護用具を使用することで、けがの防止につながります。

6. 雨中での作業は行わないでください。また、本体を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
 - ◆ 本体に水が入ると、感電する危険が大きくなります。
 - ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
7. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
 - ◆ 操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
8. 調節や付属品の交換、また保管をするときは、バッテリーを取り外してください。
 - ◆ 誤って起動するのを未然に防ぎます。
9. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチが“切”になっているか確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、工具を持ち上げたり、移動したりしてください。
 - ◆ “切”になっていないと事故の原因になります。
10. 使用中は、本体を両手で確実に保持してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
11. 使用中は、回転部に手や頭を近づけないでください。
 - ◆ 近づけると、けがの原因になります。
12. 金属を研磨する際には火花が飛ぶ恐れがあるので、引火又は爆発の危険性のある場所では絶対にご使用にならないでください。また、人を近づけないように注意してください。
 - ◆ 事故の原因になります。
13. 火花が出る可能性がある作業を行う場合には、マイクロフィルターユニット及びその他の吸じん袋や吸じん装置は接続しないでください。また、爆発あるいは自動発火の可能性がある粉じんは速やかに処理をしてください。
 - ◆ 火災や事故の原因になります。

14. 加工材料は、確実に固定してください。
 - ◆ 確実に固定されていないと、けがの原因になります。
15. モーターを回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
16. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、サンディングペーパーや本体などに破損、亀裂や変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損、亀裂があるとけがの原因になります。
17. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検、修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
18. 本体内に、液体が浸入するような作業は避けてください。
 - ◆ 感電や故障の原因になります。
19. 石綿が含まれている材料への研磨作業は行わないでください。
 - ◆ 行くと、健康を害します。
20. プラスチックや人造大理石など、溶けやすい材料への研磨作業は行わないでください。
 - ◆ 行くと、材料が熱で溶けて機械が故障する原因になります。
21. 作業中は、できるだけ換気を良くしてください。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは健康を害します。
22. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて、低温やけどをする恐れがあります。

23. バッテリーを乱暴に扱おうと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
- ◆ バッテリーから漏れた液は炎症ややけどをもたらす恐れがあります。
24. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
25. バッテリーを日光に長時間当てるなどの熱や、火、水、湿気にさらさないでください。
- ◆ 故障の原因になります。
26. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
27. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。
- 特に樫材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物（クロム酸、防腐剤）は発がん性があると考えられています。
- アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
 - ・ 作業場所の換気に注意してください。
 - ・ D S 2 クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
- ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。



注 意

1. サンディングペーパーや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 本機のスイッチを入れるときは、本機の回転部が身体に接触していないことを確認してください。
 - ◆ 接触したままスイッチを入れますと、けがの原因になります。
3. 本機を無理に強く押しつけて使用しないでください。
 - ◆ モーターやサンディングペーパーの寿命を短くするだけでなく、けがの原因になります。

充電器についての注意事項

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注意の



警 告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適応した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
め

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

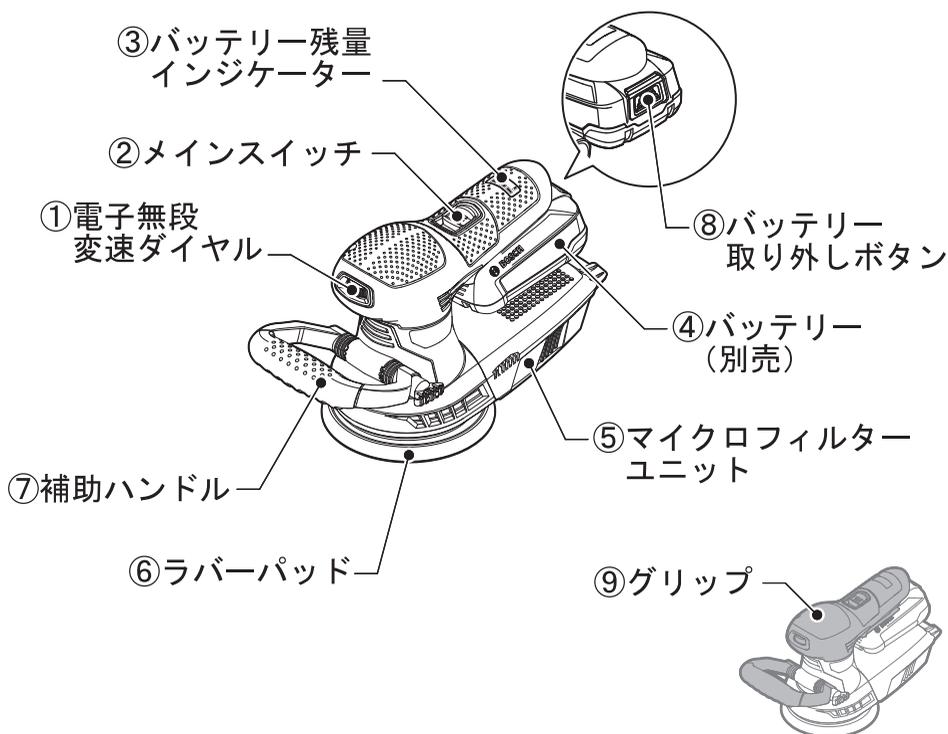
用途

- ◆ 木材・金属・プラスチック・充填材の研磨、表面仕上げ
- ◆ 塗装面の研磨、つや出し
- ◆ 木材、金属の塗装はがし
- ◆ 石材の研磨

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。業務（建築作業等）で頻繁に使用される場合は、当社「プロ用」製品のご使用をお勧めします。

本
製
品
に
つ
い
て

各部の名称



◆ このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

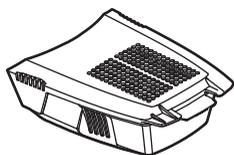
仕 様

品 番	ORB118
メーカー管理品番	3 603 CD2 0. .
定格電圧	DC18V
無負荷時回転数	3,000-12,000min ⁻¹ (回転/分)
無負荷時ストローク数	6,000-24,000min ⁻¹ (回/分)
電子無段変速の有無	有
吸じん機構の有無	有
オービットダイヤ(軌道)	3.2mm
ラバーパッドサイズ	125mmφ
質 量	1.7Kg (1.3Ah バッテリー装着時) 1.8Kg (2.5Ah バッテリー装着時) (EPTA プロシージャー01/2014 に準拠)
充電可能使用温度範囲	0~+45℃
使用/保管可能温度範囲*	-20~+50℃
振動3軸合成値 サンディング	5.3m/s ² (メインハンドル) 10.2m/s ² (補助ハンドル) (EN60745 規格に基づき測定)
推奨バッテリー	18V リチウムイオンバッテリー
推奨充電器	AL18. . CV 型 AL22. . 型

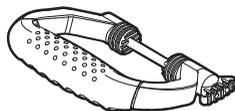
* 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

つ本
製
い
品
てに

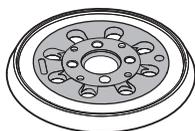
標準付属品



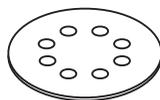
マイクロフィルターユニット



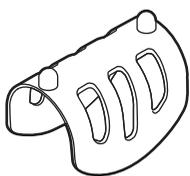
補助ハンドル



ラバーパッド (ソフト)
※本体装着済み



サンディングペーパー (1枚)



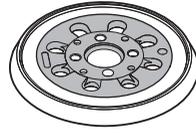
サンディングペーパー
取り付けアダプター

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本
製
品
に
つ
て



ポリッシングスポンジ



ラバーパッド (ソフト)



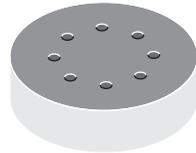
羊毛ボンネット



ラバーパッド (ミディアム)



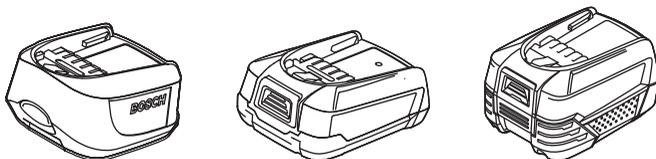
ポリッシングフェルト



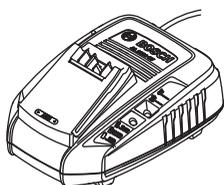
曲面アダプター

つ本
製
い
品
て
に

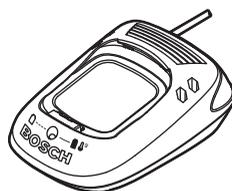
◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。



リチウムイオンバッテリー各種



充電器 AL1830CV



充電器 AL2215CV

本
製
品
に

- ◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。
- ◆各商品の詳細は、総合カタログまたはボッシュホームページ(<http://www.bosch.co.jp>)をご参照ください。

使い方

バッテリー④（別売）を準備する

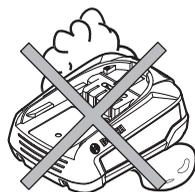


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ②」が“切”になっていることを確認してください。

● バッテリー④（別売）を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリー④（別売）を充電する

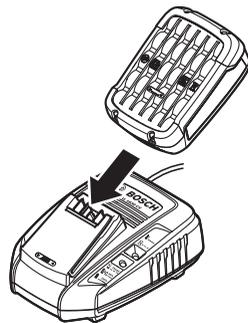
充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー④を充電してください。
- ◆ バッテリー④が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込み、表示ランプ（緑）の点灯を確認します。
2. 充電するバッテリー④を充電器のバッテリー挿入口に差し込みます。
3. 充電が完了したら、バッテリー④をバッテリー挿入口から抜き取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。



- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー④の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー④と交換してください。
- ☞ バッテリー④は出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー④をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ リチウムイオンバッテリーはその寿命を縮めることはなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリー④を傷めることはありません。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。本体が過負荷になった場合や、バッテリー④が過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

バッテリーの残量は、本体のバッテリー残量インジケータ③の表示で知ることができます。（バッテリー残量インジケータ③は、「メインスイッチ②」を“入/切”したとき、数秒間点灯します）

バッテリー残量 サインランプ	残量
3つ点灯	66%以上
2つ点灯	34~65%
1つ点灯	11~33%
遅い点滅	10%以下

バッテリー残量インジケータ③が速く点滅しているときは、バッテリー④の温度が-30℃以下もしくは 65℃以上になっています。この場合、バッテリー④が適温に戻るまで充電は開始されません。

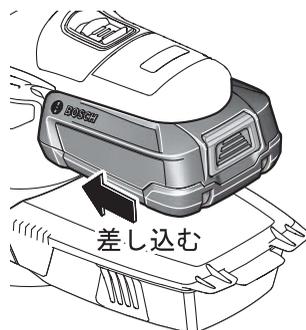
● バッテリー④を取り付ける・取り外す

- 警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ②」が“切”になっていることを確認してから、バッテリー④の取り付け・取り外しを行ってください。

取り付け

バッテリー④のツメを、本体のバッテリー取り付け部の溝に合わせ、矢印の方向に差し込みます。

“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

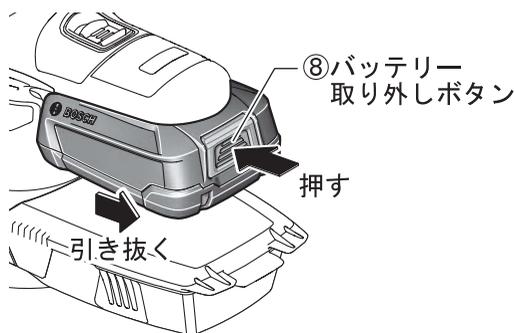


- 注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

- 注意** ◆ バッテリー④を取り外す際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン⑧」を押しながら、バッテリー④を本体から引き抜きます。



作業前の準備をする

● サンディングペーパーを選ぶ

材料、作業内容に合わせてサンディングペーパーを選択してください。

	作業工程	作業内容	粒度	
除 去 (粗削り)	粗削り(深く削る) 塗料の除去	古い塗装やニスおよび充填材の研磨	極粗目	40
		薄いコートの除去 表面の粗い材料の前研磨	粗目	60
準 備 (中削り)	軽く削る 中削り	凹凸面の研磨	中目	80
		削り傷の除去 塗装またはニス塗り前の下地研磨	細目	120
仕上げ研磨	ニス磨き 塗装後の研磨	表面のバリ除去 艶出し研磨	極細目	180
		重ね塗り前の研磨	超極細目	240

使
い
方

● サンディングペーパーを取り付ける・取り外す



警告

◆ けがの発生を防ぐため、バッテリー④を取り外してから、取り付け・取り外し作業をしてください。

取り付け

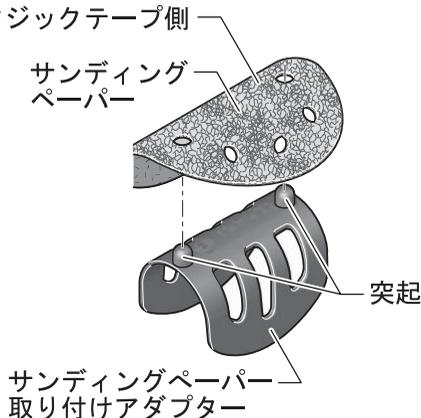
- ☞ 金属の研磨に使用したサンディングペーパーを他の材料には使用しないでください。
- ☞ ポツシュ純正のサンディングペーパーを使用してください。

1. ラバーパッド⑥に付着したゴミ等を取り除きます。
2. ラバーパッド⑥の穴とサンディングペーパーの吸じん用の穴が合うようにして、ラバーパッド⑥にサンディングペーパーをしっかりと押しつけて装着します。

アダプターを使用して取り付ける

☞ サンディングペーパー取り付けアダプターを使用すると、より正確に吸じん用の穴を合わせることができます。

- 1) サンディングペーパーのマジックテープ側を上にして、サンディングペーパー取り付けアダプターの突起（2か所）にサンディングペーパーの吸じん用穴を合わせてセットします。



- 2) ラバーパッド⑥の穴にサンディングペーパー取り付けアダプターの突起を差し込みます。



- 3) 突起を差し込んだ状態で、ラバーパッド⑥にサンディングペーパーを押し付けて装着します。

使
い
方

取り外し

サンディングペーパーの端を持ち上げ、ラバーパッド⑥から引きはがします。

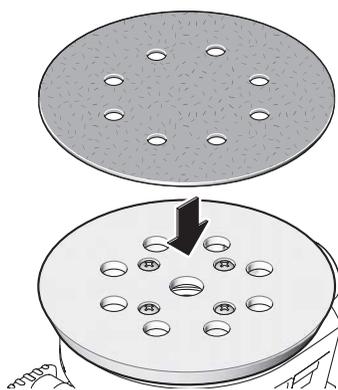
マジック式アクセサリー



アクセサリーはすべてマジック式ですので、交換も工具なしでワンタッチで素早く行えます。

新しくサンディングペーパー等を装着するときは、ラバーパッド⑥に付着したゴミ等を取り除いてください。サンディングペーパーはラバーパッド⑥にしっかりと押す感じで取り付けてください。その際にサンディングペーパーは吸じん用の穴あきタイプになっていますので、ラバーパッド⑥の穴に合うように取り付けてください。

- アクセサリーはボッシュ純正品をご使用ください。



● ラバーパッド⑥を選択する

材料、作業内容に合わせてラバーパッド⑥を選択してください。

ラバーパッドは、ソフトタイプ、ミディアムタイプの2種類があります。(別売アクセサリ)

お買い上げ時は、ソフトタイプのラバーパッドが装着されています。

ソフトタイプ (グレー) : 中削りや仕上げ作業に最適です。

ミディアムタイプ (黒) : すべての材料・すべての作業に対応します。

● ラバーパッド⑥を交換する

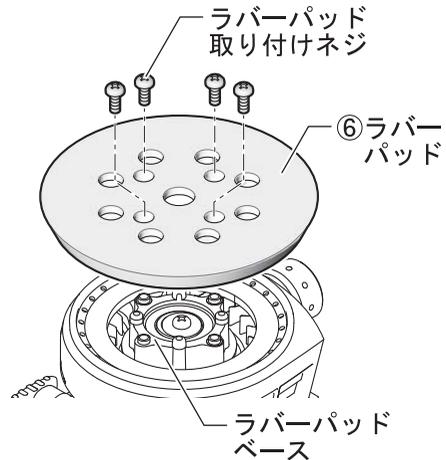
☞ 摩耗したり、傷ついたラバーパッド⑥は、すぐに交換してください。

1. サンディングペーパーを取り外します。
2. トルクスレンチ (T20 市販品) でラバーパッド取り付けネジを緩め、ラバーパッド⑥を取り外します。

3. 取り付けるラバーパッド⑥のネジ穴が、ラバーパッドベースのネジ穴に合うように、ラバーパッド⑥をセットします。

4. トルクスレンチ (T20) でラバーパッド取り付けネジを締め、ラバーパッド⑥を固定します。

☞ 確実にラバーパッド⑥が取り付けられているか確認してください。



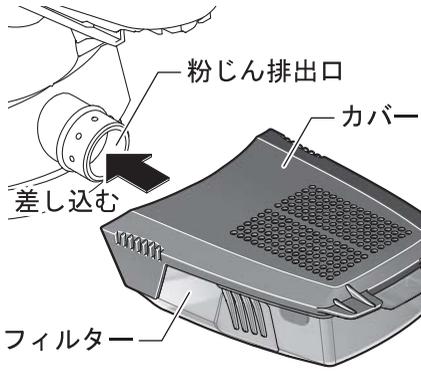
5. サンディングペーパーを取り付けます。

● マイクロフィルターユニット⑤を取り付ける・取り外す

取り付け

マイクロフィルターユニット⑤を本体後部の粉じん排出口に、差し込みます。

- ☞ マイクロフィルターユニット⑤のボックスにカバーがすき間なく取り付けられているか確認してから本体に差し込んでください。
- ☞ マイクロフィルターユニット⑤が確実に差し込まれていることを確認してください。

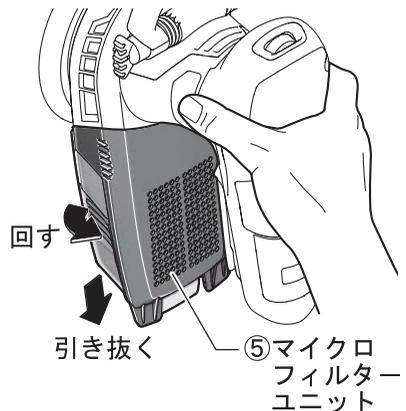


使
い
方

取り外し

図の向きに本体を持ち、マイクロフィルターユニット⑤を矢印の方向に回しながら引き抜きます。

マイクロフィルターユニット⑤と本体との接続部を上向きにすることにより、内部にたまった粉じんがこぼれ落ちずに取り外すことができます。



● 補助ハンドル⑦を取り付ける・取り外す

補助ハンドル⑦を取り付けると、均等に力が配分され、最適な研磨作業が行えます。



警告

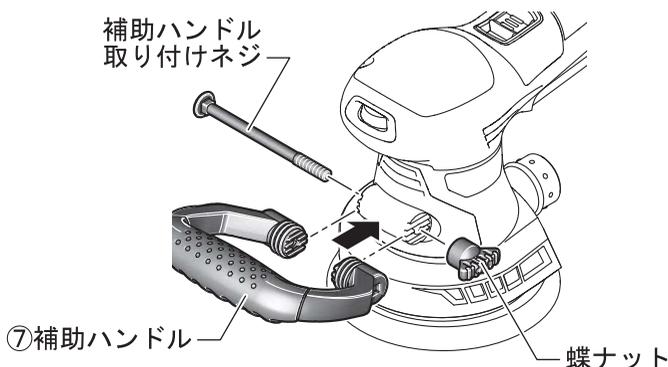
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、補助ハンドル⑦の取り付け・取り外し、調節をするときは、バッテリー④を取り外してください。

☞ 補助ハンドル⑦は、縁に近い場所を研磨する際など、作業の障害となる場合には取り外すことができます。

取り付け

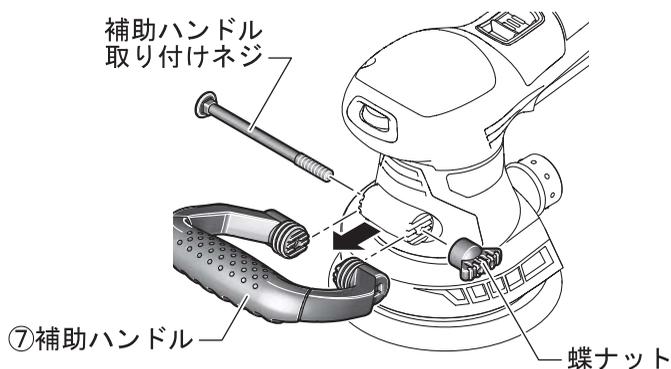
1. 本体の補助ハンドル取り付け部の溝と補助ハンドル⑦の溝を合わせ、補助ハンドル⑦を奥まで押し込みます。
2. 補助ハンドル⑦を、作業に適した位置に合わせます。
補助ハンドル⑦の位置は、3段階で調節できます。
(次ページ「補助ハンドル⑦の位置を調節する」参照)
3. 補助ハンドル取り付けネジを差し込み、蝶ナットで締めて補助ハンドル⑦を固定します。
この際、ガタつきがないか確認してください。

☞ 作業に適した位置に補助ハンドル⑦を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。



取り外し

1. 蝶ナットを緩めて取り外します。
2. 補助ハンドル取り付けネジを引き抜きます。
3. 補助ハンドル⑦を引き抜きます。



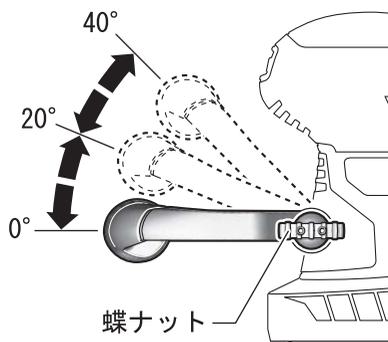
使
い
方

- ☞ 紛失を避けるため、取り外した補助ハンドル⑦は、補助ハンドル取り付けネジと蝶ナットを取り付けて保管してください。

補助ハンドル⑦の位置を調節する

補助ハンドル⑦の位置は、3段階で調節できます。

1. 蝶ナットを緩めます。
2. 補助ハンドル⑦を作業に適した位置に合わせます。
3. 蝶ナットを締めて、補助ハンドル⑦を固定します。





注意

◆ 金属の研磨に使用したサンディングペーパーは、他の材質の研磨に使用しないでください。

1 「電子無段変速ダイヤル①」で速度を設定する

1～2：低速

3～4：中速

5～6：高速

☞ 試し作業などをし、最適な速度を設定してください。

☞ 「電子無段変速ダイヤル①」は、作業中でも変更できます。

2 本体にバッテリー④を取り付ける

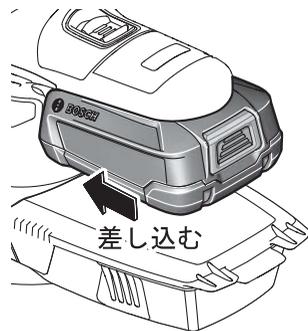


警告

◆ 「メインスイッチ②」が“切”になっていることを確認してから、バッテリー④を取り付けてください。

バッテリー④を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

☞ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

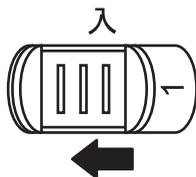


3 本機を材料に押しあて、「メインスイッチ②」を“入”にする

スイッチの入／切

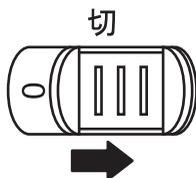
スイッチ入：「メインスイッチ②」を“入”にします。

(数字の“1”が見えている)



スイッチ切：「メインスイッチ②」を“切”にします

(数字の“0”が見えている)



使
い
方

再始動安全機構

「メインスイッチ②」が“入”のまま、バッテリー④の消耗などにより作業が中断した場合、「メインスイッチ②」が“入”のままバッテリーを交換しても、安全機構が作動し、始動しません。

「メインスイッチ②」を一度“切”にした後、“入”にすると再始動します。

研削・研磨作業

サンディングペーパー全体を加工面に当て、材料上を適度の圧力で動かして作業を行ってください。



注意

◆ 発火する恐れがあります。材料や本体を過熱させないように作業してください。

- ☞ 高速で研磨するとき、または粒度の細かいペーパーを使用して研磨するときは、研磨面が過度に熱くならないように注意してください。
- ☞ 低速での長時間の加工は行わないでください。本体が熱くなったときは、3分間ほど最高速度で空転（無負荷運転）させて、モーターを冷やしてください。
- ☞ 材料はしっかりと固定してください。
- ☞ 実際の作業の前に、一度試し作業されることをおすすめします。
- ☞ 一定の力で材料に押しつけるようにすると、サンディングペーパーを長く使用できるようになります。
- ☞ 必要以上強く押しつけても研磨能率は上がりません。逆に本体や研磨ツールを消耗させることとなります。
- ☞ 次の表は研削・研磨作業での作業ヒントです。作業に応じて参考にしてください。

材 料		サンドペーパー粒度		電子無段変速
		粗削り	仕上げ	ダイヤル
	塗装面の 研磨	180	240	2-3
	塗装はがし (金 属)	120	240	4-5
	塗装はがし (木 材)	40	60	5
	軟 木	40	240	5-6
	硬 木	60	240	5-6
	合 板	180	240	2-4

材 料		サンドペーパー粒度 粗削り 仕上げ		電子無段変速 ダイヤル
	アルミニウム	80	240	4-5
	鉄 鋼	40	240	5
	サビ落とし	40	120	6
	ステンレス	80	240	5
	レンガ	80	240	5-6

粗削り

粒度の粗いサンディングペーパーを取り付け、本体を軽く押しつけてください。

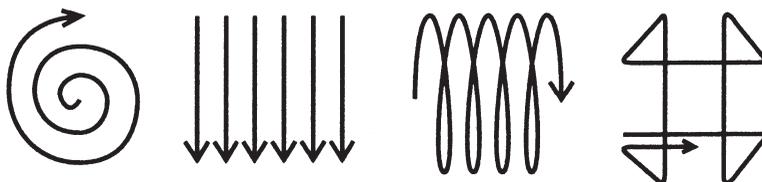
「電子無段変速ダイヤル①」で回転数を上げると、研磨量が増えます。

仕上げ

粒度の細かいサンディングペーパーを取り付けてください。

回転数は、本体を材料に押さえつける力でも調整できます。

本体を材料に適度に押しつけ、円形に、平行に、楕円形に、十文字に動かしながら作業してください。（下図参照）



作業中には本体を傾けないでください。

傾けると、部分的に深く削れ、キズになる場合があります。

ポリッシング作業

羊毛ボンネット・ポリッシングフェルトを使って塗装面の磨きやつや出し作業が行えます。

- 材料はしっかり固定してください。
- 作業に合わせた先端アクセサリー（羊毛ボンネット、スポンジ）を選んでください。
- 本体の回転数を低速に設定してください。（電子無段変速ダイヤル：1－4）
- 本機を適度な力で押しつけ、円形もしくは十文字（縦・横）を描くように動かしてください。



注意

◆ 作業面が異常な熱を持たないように回転数を調整してください。

1. ラバーパッド⑥にポリッシングスポンジを取り付けます。
2. 作業する面に研磨材をつけます。
 磨く表面を直射日光に当てるなどして、研磨材の表面が乾かないように注意してください。
研磨材が乾くと、磨く表面を傷つける恐れがあります。
3. 本体を適度な力で押しつけ、円形もしくは楕円形に動かします。研磨材が軽く乾く程度まで行ってください。
4. ラバーパッド⑥からポリッシングスポンジを取り外し、羊毛ボンネットを取り付けます。
5. 円形もしくは楕円形に本体を動かし、研磨材が乾ききるまで磨きます。

使
い
方

ポリッシングスポンジ・羊毛ボンネットのお手入れ

- 中性洗剤かぬるま湯で押し洗いし、日陰で乾かしてください。
- シンナー類は使用しないでください。

粉じんを取り除く



◆ 下記の状態になったとき、発火する恐れがあります。作業の終了ごとに、マイクロフィルターユニット⑤から、粉じんを取り除くようにしてください。

- 金属加工中に発生した火花を吸じんした。
- ニスの粉じんと、ポリウレタンの粉じんやその他化学物質の粉じんが混ざってしまった。
- 長時間の作業で、熱くなったサンディングペーパーの破片を吸じんした。

☞ マイクロフィルターユニット⑤に粉じんがたまったときは、粉じんを取り除いてください。

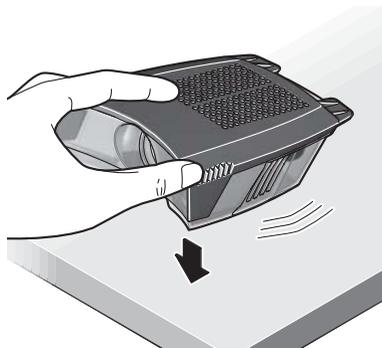
マイクロフィルターユニット⑤内の状態は、透明カバーから確認することができます。

☞ 作業が終わったら、必ずマイクロフィルターユニット⑤の粉じんを取り除いてから保管してください。

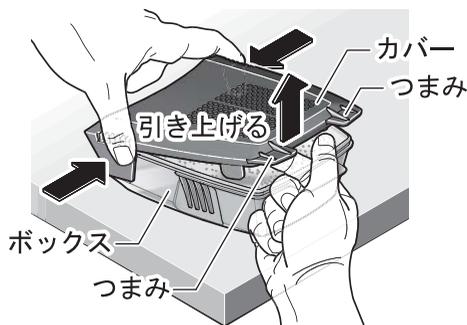
☞ マイクロフィルターユニット⑤のペーパー部が破損した場合は、フィルターカバーを交換してください。

1. 取り外したマイクロフィルターユニット⑤を、図のようにかたい表面の所に数回軽く当てます。

粉じんがマイクロフィルター底部に集まり、後処理がしやすくなります。



2. マイクロフィルターユニット⑤のボックスを片手でしっかり押さえ、もう片方の手でカバーのつまみを引き上げて外します。



3. マイクロフィルター底部にたまった粉じんを処理します。
4. マイクロフィルターユニット⑤のひだの部分をやわらかいブラシなどで清掃します。
 フィルター部の水洗いはしないでください。
5. マイクロフィルターユニット⑤のボックスにカバーを取り付けます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
作動しない	バッテリー④が消耗している（電子セル保護システムが作動した） バッテリー④の温度が最適温度範囲外になっている 本体の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー④を充電するか、交換する バッテリー④が最適温度範囲内になるまで待つか、交換する 作業可能温度範囲内になるまで待つ
「メインスイッチ②」をOFFにしても、作動したまま止まらない	内部パーツの不良	バッテリー④を取り外し、修理を依頼する
回転数（ストローク数）が少ない	電子無段変速ダイヤル①の設定が低くなっている	電子無段変速ダイヤル①を調節する
研磨量が少ない	サンディングペーパー等が摩耗している 本機を材料に強く押さえすぎている	新品と交換する 回転数が落ちない程度に本機を材料に当てる
作動中に回転が止まる	本機を材料に強く押さえすぎている	回転数が落ちない程度に本機を材料に当てる
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー④の寿命が尽きた	バッテリー④を交換する

症 状	原 因	対 処
吸じんしない	ラバーパッド⑥の吸じん穴 が目詰まりしている	ラバーパッド⑥の吸じん穴 を清掃する
	マイクロフィルターユニット ⑤が目詰まりしている	マイクロフィルターユニット ⑤の中身を捨てるか、新 しいものと交換する
	サンディングペーパーとラ バーパッド⑥の穴がずれて いる	正しく装着する

困
った
とき
は

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



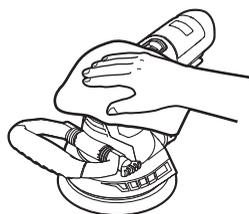
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー④を取り外してからお手入れしてください。

クリーニング

- 通風口やラバーパッド⑥などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- バッテリー取り外しボタン⑧やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

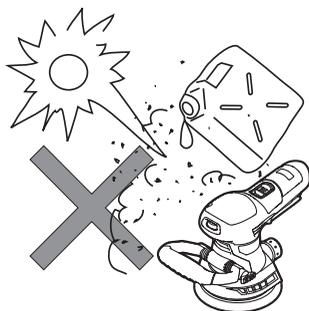
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

● 使用後はバッテリー④を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- バッテリーは、 -20°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。



保
お
手
入
れ
と
管